



2021年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年3月10日

上場会社名 神島化学工業株式会社
 コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 2021年3月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 池田 和夫
 (氏名) 小田島 晴夫
 TEL 06-6110-1133

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第3四半期の業績(2020年5月1日～2021年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	14,654	8.3	1,032	47.8	1,081	64.2	742	51.9
2020年4月期第3四半期	15,973	5.0	698	3.9	658	3.8	488	9.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	81.02	80.63
2020年4月期第3四半期	53.39	53.21

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	19,213		8,152			42.2
2020年4月期	19,082		7,552			39.4

(参考) 自己資本 2021年4月期第3四半期 8,109百万円 2020年4月期 7,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期		10.00		10.00	20.00
2021年4月期		10.00			
2021年4月期(予想)				20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の詳細については本日公表の「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年4月期の業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,400	8.5	1,350	45.6	1,400	60.2	1,000	66.4	109.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当期の業績予想の詳細については本日公表の「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期3Q	9,240,000 株	2020年4月期	9,240,000 株
期末自己株式数	2021年4月期3Q	75,888 株	2020年4月期	75,539 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期3Q	9,164,342 株	2020年4月期3Q	9,154,051 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症拡大が継続する中、経済・社会活動が大幅に制限されたことにより、依然として厳しい状況が続きました。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場は、消費増税後の反動減や新型コロナウイルスの感染症拡大の影響が重なり、新設住宅着工戸数が当第3四半期累計期間において62万1千戸と対前年度比9.9%の減少となりました。

このような状況の中、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は14,654百万円と前年同四半期比1,318百万円(8.3%)の減収となりました。営業利益は1,032百万円と前年同四半期比334百万円(47.8%)の増益、経常利益は1,081百万円と同422百万円(64.2%)の増益、四半期純利益は742百万円と同253百万円(51.9%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①建材事業

建材事業におきましては、「2020年度 グッドデザイン賞」受賞の『アルテザート(高意匠軒天井用素材)、アトラフィット(専用金具による施工方法)』を投入するなど注力製品の高級軒天ボードの拡販はあったものの、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う新設住宅着工戸数の低迷により業界全体の販売量が減少したことや採算性重視の施策により一部製品の販売が減少したことなどから、売上高は9,103百万円と前年同四半期比1,364百万円(13.0%)の減収となりました。セグメント利益(営業利益)は、大幅な減収に伴う利益減の影響があったものの、修繕費など固定費負担の減少や全社一丸となって収益改善活動を推進し、生産性の向上・各種コスト削減に努めたことなどにより、375百万円と同25百万円(6.3%)の減益に留まりました。

②化成品事業

化成品事業におきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を受けた自動車等工業用関連の受注減少に伴い難燃水酸化マグネシウム製品の販売量の減少はあったものの、サプリメント需要増による酸化マグネシウム製品やセラミックス製品の拡販により、売上高は5,550百万円と前年同四半期比45百万円(0.8%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)も高利益率のマグネシウム製品・セラミックス製品の拡販や各種コスト削減による収益改善などにより1,041百万円と同365百万円(54.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は19,213百万円となり、前事業年度末(以下前年度)に比べ130百万円増加いたしました。このうち、流動資産は9,314百万円と前年度に比べ203百万円減少いたしました。主な増減要因は、商品及び製品が444百万円、受取手形及び売掛金が198百万円、仕掛品が92百万円、原材料及び貯蔵品が63百万円減少、現金及び預金が654百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は9,898百万円と前年度に比べ333百万円増加いたしました。主な増減要因は、有形固定資産が425百万円増加、繰延税金資産が52百万円減少したことによるものであります。

流動負債は7,957百万円と前年度に比べ131百万円減少いたしました。主な増減要因は、短期借入金金が800百万円減少、流動負債のその他に含まれる未払金が611百万円増加したことによるものであります。

固定負債は3,103百万円と前年度に比べ338百万円減少いたしました。主な減少要因は、長期借入金金が346百万円減少したことによるものであります。

純資産は8,152百万円と前年度に比べ600百万円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が559百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績予想の合理的な算定が困難な部分がありますが、現時点で入手可能な前提条件に基づき算定いたしました。

詳細については、本日公表の「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440	2,095
受取手形及び売掛金	3,363	3,165
電子記録債権	780	729
商品及び製品	2,052	1,607
仕掛品	704	612
原材料及び貯蔵品	879	815
その他	297	289
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,518	9,314
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,110	2,983
機械及び装置（純額）	3,078	2,842
土地	1,381	1,381
その他（純額）	635	1,423
有形固定資産合計	8,205	8,630
無形固定資産	33	24
投資その他の資産		
投資有価証券	259	295
繰延税金資産	729	677
その他	337	270
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,325	1,243
固定資産合計	9,564	9,898
資産合計	19,082	19,213

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,426	1,488
電子記録債務	1,092	1,237
短期借入金	3,000	2,200
1年内返済予定の長期借入金	707	433
未払法人税等	190	187
賞与引当金	286	149
製品保証引当金	105	100
訴訟損失引当金	—	15
設備関係支払手形	11	—
設備関係電子記録債務	125	269
その他	1,144	1,876
流動負債合計	8,089	7,957
固定負債		
長期借入金	1,399	1,052
退職給付引当金	1,819	1,866
その他	223	184
固定負債合計	3,441	3,103
負債合計	11,530	11,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,085	1,085
利益剰余金	5,138	5,697
自己株式	△27	△27
株主資本合計	7,516	8,075
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	33
評価・換算差額等合計	2	33
新株予約権	32	43
純資産合計	7,552	8,152
負債純資産合計	19,082	19,213

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年5月1日 至2020年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年5月1日 至2021年1月31日)
売上高	15,973	14,654
売上原価	11,719	10,386
売上総利益	4,253	4,268
販売費及び一般管理費	3,555	3,235
営業利益	698	1,032
営業外収益		
受取配当金	11	7
雇用調整助成金	—	79
破損損害金	8	7
その他	18	14
営業外収益合計	38	109
営業外費用		
支払利息	42	31
売上割引	20	19
その他	15	10
営業外費用合計	78	61
経常利益	658	1,081
特別利益		
投資有価証券売却益	72	14
特別利益合計	72	14
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	—	15
固定資産除却損	47	12
固定資産売却損	—	4
特別損失合計	47	32
税引前四半期純利益	683	1,063
法人税、住民税及び事業税	129	283
法人税等調整額	65	37
法人税等合計	195	320
四半期純利益	488	742

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,467	5,505	15,973	—	15,973
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,467	5,505	15,973	—	15,973
セグメント利益	401	675	1,076	△378	698

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△378百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△378百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,103	5,550	14,654	—	14,654
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,103	5,550	14,654	—	14,654
セグメント利益	375	1,041	1,417	△384	1,032

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△384百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△384百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

前事業年度末の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。